

令和6年度 国土技術政策総合研究所 技術提案評価審査会 議事概要

日時：令和7年3月13日（火） 10:00～10:53

場所：【委員】各大学

【国総研】つくば旭庁舎8階会議室

横須賀庁舎2階応接室 ※Web会議(Microsoft Teams)により実施

出席委員：別紙の通り

1. 令和6年度の実施結果について

(1) 主な内容

- ①令和6年度の技術提案評価の実施結果について、以下を報告
 - ・契約方式別技術提案評価件数、個別審査会の審査会開催状況と個別審査会において、全ての技術提案評価について妥当と確認されたことを報告
 - ・全ての技術提案評価について、競争参加者からの苦情申し立てはなかった。
- ②技術提案評価審査会の改善について 各個別審査会での抽出と開催状況を報告
 - ・抽出状況、個別審査会1回あたりの開催時間、審議件数及び審議時間を報告
- ③全員に対して個別審査会の運営方法に関するアンケート結果の報告
 - ・個別審査会について、適切な審議時間等が確保され審議の時間配分はおおむね適切であった。ただし説明方法について業務内容が分かりやすくなるような工夫が必要との意見があり、今後説明方法の検討を行うことを回答
 - ・会議資料の事前送付がされ、準備が出来るため良かったとのご意見について、引き続き実施することを報告
 - ・会議後の、審査結果の委員への確認方法について簡略化に関するご意見があり、今年度途中から簡略化したことを報告

(2) 委員からの意見

- ・審査会において、審査案件が3件を超えて抽出が必要になる場合もあるがその原因や要因について質問があり、国総研では早期発注を推進している関係で、上半期に発注が集中することで、審査会1回に登録される件数が多くなり、その結果抽出しての審査となることを回答。
- ・以上により、実施結果について確認された。

2. 令和7年度の入札・契約の実施方針

(1) 主な内容

令和7年度の入札・契約実施方針について、以下を説明。

①働き方改革への取り組み

- ・発注手続き前倒し（上半期発注）、履行期限の平準化の確保と取り組みの状況
- ・プロポーザル方式、総合評価落札方式（標準型）の特定（評価）テーマ設定数に

ついて、1テーマ設定とする発注額を1000万円以下から2000万円以下とし、応募者の負担軽減を図る取り組みの継続

- ・休業期間（産前・産後・育児・介護休業等）を考慮した業務実績年数緩和の継続
- ・簡易公募型プロポーザル方式における「拡大型」原則採用の継続
- ・情報システム改良業務等における「参加者の有無を確認する公募手続き」の活用継続
- ・ウィークリースタンス、ワークライフバランスの取り組みの徹底。
- ・業務スケジュール管理表の活用徹底
- ・受発注者間の業務打合せにおけるWeb会議の活用継続
- ・情報共有システム（ASP）の活用継続

令和6年度から情報共有システム（ASP）の全業務に対しての全面適用

②品質確保対策

- ・建設コンサルタント業務において、従来価格競争としてきた案件について総合評価落札方式（簡易型）を原則採用する取り組みの継続
- ・建設コンサルタント業務の低入札対策として総合評価落札方式において履行確実性評価の継続

③入札契約の実施概要

- ・建設コンサルタント業務の競争参加資格要件は令和4年度改定した内容で継続
- ・特定者及び落札者の決定方法は業務、工事とも令和4年度改定した内容で継続
- ・業務、工事、役務とも、総合評価落札方式において賃上げ実施を表明した応募者に対する加点措置（技術（加算）点の5%以上で設定）を継続
- ・評価ウエイトは業務、工事とも令和4年度改定した内容で継続
- ・個別審査会は引き続きWeb会議方式を継続

（2）委員からの意見

- ・ウィークリーバランスについて、国総研内部の発注担当者から実施において意見等があったのかと質問があり、国総研では、国総研内での相談や苦情等は聞いていなく、実施が徹底されていることを回答。
- ・賃上げの実施について、賃上げの申請を行っている受注者が、実施出来ていないことがあるのか確認があり、国総研からの回答で、ほとんどの業者が実施出来ているが、年間で1・2件ほど実施出来ていないことがあることを回答。
- ・入札・契約実施方針については特に修正なく了承された。

以 上